

【法蔵館文庫】

精神世界のゆくえ

— 宗教からスピリチュアリティへ

しまぞの すずむ
島菌 進 著

▼文庫判・並製カバー・528頁・定価一、六五〇円

2022年11月刊行



なぜ現代人は「スピリチュアリティ」を求めるのか。宗教や科学に変わる新しい思想を網羅的に分析し、変容する精神文化の実態に迫る。

【目次】

はじめに

【第1部】 グローバルな現象としての精神世界

- 第1章 精神世界とは何か
- 第2章 ニューエイジ運動とその周辺
- 第3章 新霊性運動 (new spirituality movements)

【第2部】 新霊性運動の体験と生の形

- 第4章 ニューエイジ運動の多中心性
— チャネリングの流行の意味
- 第5章 ニューエイジャーの癒しと救い
— S・マクレレンの「自己自身への旅」
- 第6章 自己変容体験とその参与観察
— セミナーの倫理と愛
- 第7章 ニューサイエンス理論のなかの心
— 心Ⅱ意識は何をなしとげうるか

【第3部】 精神世界と知の構造の変容

- 第8章 教養から精神世界へ
— 高学歴層の自己形成の変容
- 第9章 精神世界の主流文化への浸透
— 霊性的知識人の台頭
- 第10章 新霊性運動と代替運動
— ある農業運動の事例から

【第4部】 現代世界のなかの新霊性運動

- 第11章 セラピー文化のゆくえ
- 第12章 宗教と超えて? — 新霊性運動と「宗教」観の変容
- 第13章 救済とルサンチマンを超えて? — 現代宗教における「悪」について
- 第14章 救済宗教と新霊性運動
— 軸の時代からポストモダンへ

あとがき
新しいスピリチュアリティの捉え方
— 文庫版あとがきにかえて
索引

◆著者略歴

島菌進(しまぞの すずむ)

一九四八年東京生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。東京大学大学院人文社会学系研究科教授、上智大学大学院実践宗教学研究科教授、同大学グリーンフケア研究所所長を経て、現在、大正大学客員教授、上智大学グリーンフケア研究所客員所員。著書に『ポストモダンの新宗教』(法蔵館)、『現代救済宗教論』(青弓社)、『現代宗教の可能性』(スピリチュアリティの興隆)、『日本仏教の社会倫理』、『戦後日本と国家神道』(以上、岩波書店)、『明治大帝の誕生』(春秋社)、『新宗教を問う』(宗教学の名著30) (筑摩書房) など多数。

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法蔵館	島菌進著
定価一、六五〇円	精神世界のゆくえ
住所	— 宗教からスピリチュアリティへ
お電話	【法蔵館文庫】
お名前	ISBN: 978-4-8318-2641-1 C1114

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

宗教学